

課題2 話の流れの理解

県の通過率 45.1% → 54.0%

問題 9

次の 内の英文に続けて、①～③の英文を並べかえて、まとまりのある文章をつくります。話が最も自然な流れになるように並べかえたものを、下のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

Hi. My name is Yumi.

- ① We play basketball every day.
- ② It is our favorite sport.
- ③ I have two sisters.

ア ②-①-③ イ ②-③-① ウ ③-①-② エ ③-②-①

<経年比較>

年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
通過率 (%)	54.6	56.5	70.6	45.1	54.0

主な誤答と無解答	割合 (%)
エ	31.4
ア	6.8
イ	5.6
無解答	1.6

誤答エ

英文①の代名詞 We と英文②の代名詞 our が、英文③の I と two sisters を表していることを捉えているが、英文②の It が英文①の basketball を表していることを捉えていない。【31.4%】

誤答ア・イ

代名詞 We , It , our が先に述べられた内容を受けて、使われていることを理解していない。【12.4%】

平成19～23年度の調査結果をみると、話が最も自然な流れになるように並べ替える設問については、ほとんどの年度で通過率が60%を下回っており、話の流れを理解する力の定着が不十分である。

昨年度の報告書で示した指導改善のポイント

- 英文を日本語に訳させるだけの指導で終わるのではなく、代名詞、副詞のはたらきを理解させ、その上で代名詞 we, it, our や副詞 there 等が何を示しているのかを考えさせて、文の意味やつながりを正しく捉えさせましょう。

- 年間指導計画において、読むことの指導の中に、話の流れを捉えることをねらいとして英文を読ませることを位置付けましょう。話の流れを捉えさせるためには、文と文の順序や相互の関連について考えさせることが大切です。



<事例紹介> 熊野町立熊野東中学校

ポイント

バラバラにした英文カードを、文の内容とつながりに着目させ適切な順番に並べ替えさせる。また、順番にした理由を説明させる。

① バラバラにした英文カードを使って文の内容とつながりを考えさせる。

※ グループごとに、バラバラにした4～5枚の英文カードについて、文の内容と文のつながりを考えて適切な順番に並べ替えさせる。

モデル文

This is my best friend.

Her name is Natsumi.

I call her natchan.

She likes sports very much.

I play tennis with her on Sundays.



② なぜ、その順番にしたのか、理由を付けて発表させる。

※ つながりのある文とはどういうことか、代名詞や、話の内容から考えさせる。

③ 並べ替えたモデル文を参考に自己表現活動へとつなげていく。



ポイント

教科書の本文を利用して、話の流れを考えさせる。

① 教科書をただ日本語に訳させたり、内容を理解させたりするだけでなく、教科書の本文を読ませる前に、バラバラにした英文カードを並べ替えさせ、文章を完成させる活動を仕組む。

② 教科書の本文に空欄箇所をつくり、話の流れを考えさせながら、その中に適する接続詞などを補充させる。

<事例紹介> 尾道市立重井中学校(因島・瀬戸田地区研究推進地域)

ポイント

代名詞、副詞、接続詞に着目させ、具体的に何を指しているかを考えさせる。

① 代名詞、副詞、接続詞について、意味と働きを理解させる。

② 英文を読み、代名詞、副詞、接続詞を見つけて下線を引かせる。

③ 具体的に何を指しているか考えさせる。

(例) Shigei Junior High School is a small school. My friend and I go there by bike.

(問い) there はどんな意味ですか。具体的にどこのことですか。

We play tennis after school. It is our favorite sport.

(問い) It はどんな意味ですか。具体的に何のことですか。

課題3 つながりのある英文を書くこと

県の通過率 45.9%

61.4%

問題 12

次の英文は、ダイスケ(Daisuke)とブラウン先生(Ms. Brown)の会話文です。

ふき出しの言葉を使って、の中に友達のケンタ(Kenta)について説明する3文以上の英文を書きなさい。

ただし、ブラウン先生との会話の流れを考えて書きなさい。

【会話文】
Ms. Brown : Who is he?
Daisuke : He is Kenta.

Ms. Brown : Oh, I like soccer, too.

平成22年度の調査結果をみると、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書く力の定着が不十分だった。

今年度の調査結果から、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書く力はおおむね定着している。

<経年比較>

年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
通過率(%)	62.1	64.7	72.6	65.4	65.4	45.9	61.4

	誤答と無解答	割合 (%)
1	内容を理解する上で支障のない誤り（綴りの誤りや文法の誤りなど）が、3文の場合は5か所以上、4文の場合は6か所以上、5文の場合は7か所以上ある。	9.9
2	3文以上書いているが、その中に、He likes soccer. という英文を書いていない。	5.0
3	3文書いていない。	1.7
4	上記以外の解答	13.9
5	無解答	8.1

誤答2・3・4

つながりのある英文を書くことができていない、3文書くことができている等、まとまりのある一貫した文章を書くことができている。【20.6%】

誤答1

綴りを正しく書くことができている、文構造や語法を理解できていない。【9.9%】

昨年度の報告書で示した指導改善のポイント

- トピックを与えるなどして、まとまりのある文章を書かせる学習課題を計画的に設定しましょう。
- モデル文を提示し、まとまりのある文章を書くための視点を捉えさせ、それを使って文章を書かせましょう。

<視点の例>「英文の展開の仕方が適切か」「前の英文を受けて、接続詞、副詞及び代名詞を適切に使っているか」

- 文のきまりや語順を正しく理解させるために、語順を視覚的に捉えさせる板書の工夫をしたり、主語や動詞を様々な語(句)に置き換えながら文のきまりにしたがって文を作らせたりしましょう。
- 基本文を繰り返し聞かせ、文字を見て発音させ、書いて覚えさせた上で、その基本文を活用させましょう。

<事例紹介> 東広島市立河内中学校 (東広島市研究推進地域)

ポイント

- まとまりのある文章を書くための視点を示し、書く内容を整理させる。
- ピア・フィードバックと教師によるフィードバックを効果的に活用する。

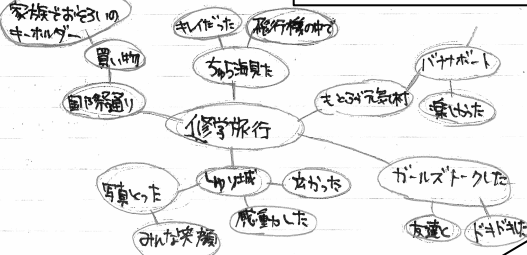
1 修学旅行記としてまとまりのある文章を書くための視点(話の流れ)を示し、マッピングにより書く内容を整理させる。

話の流れ

「どこに行ったか」→「何をしたか」→「感想」

マッピング

語順に気を付け英文を作る。



6 3回目の英作文別の用紙に清書させる。

1回目の英作文と友達による添削、コメント

I was very impressed with Churasea. On the second day I went to Motobugenkimura. I played bananaboto with my classmate at that. It was very happy. On the third day I went to Kokusai-Dori. I like it.

2回目の英作文

I was very impressed with beautiful sea. On the second day I went to Motobugenkimura. I took bananaboto with my classmate there. I was very happy because I took it for the first time. On the third day I went to Kokusai-Dori.

英文を書くことが苦手な生徒への手立ての例

- ① モデル文をノートに書かせてその意味を確認させる。
- ② 自分のことを書く場合、モデル文のどの部分を置き換えればよいか、その部分の下線を引かせる。
- ③ 下線部に、自分のことを入れてまず話をさせる。言い方が分からないときは、教科書や辞書で調べさせたり、質問させたりする。
- ④ 話した英語を、教科書や辞書を参考に、下線部と置き換えて英文を書かせる。

◆ 上記の事例以外にも、成果を上げている学校の取組として、次のような指導があります。

- 3年間を9ステップに分けて一貫性と正確性の両方を意識し、到達目標を明確にして、計画的に文章を書かせる。
- まとまりのある文章について、3分間視写させる。
 - ① モデル文の内容を理解させようとして、視写させる。
 - ② 書き写す際は、1単語ずつ書き写すことから始まり、次第に意味のまとまり毎に書き写すようにさせる。
 - ③ 視写後、自分が視写した英文を音読させる。
 - ④ 音読後、班内で視写プリントを交換し、1単語、1符号毎に○付けをさせる。プリントは提出させ、指導者が正確性について確認する。
 - ⑤ 3分間で視写できた英文の数を記録に残させる。

English	Japanese
[Level 1]	
① I <u>want to be</u> a dancer.	① 私はダンサーになりたいです。
② I <u>like to dance</u> very much.	② 私は踊ることが大好きです。
③ My favorite dancers are EXILE.	③ 私の好きなダンサーはEXILEです。
④ I <u>want to</u> dance like them.	④ 私は彼らのように踊りたいです。
⑤ So I <u>want to work</u> at Tsuta Nursery School' and <u>dance</u> with kids during summer vacation.	⑤ そして、夏休み中は津田保育園で働き、園児と一緒に踊りたいです。

